

第 48 回（2019 年度） 三菱財団人文科学研究助成応募要領

1. 助 成 の 趣 旨

21 世紀の現在、成熟社会における多様性に注目が集まる中で、教養教育の重要性が指摘され、「心の豊かさの醸成」がより求められる時代を迎えています。

本財団では、学術研究助成の一環として、人文社会系領域での基礎的かつ着実な実証研究を支援します。

2. 助 成 の 概 要

①研究分野

人文学分野、及びそれに関連する分野からなる、人文社会系研究全般を対象とします（申込分野コードとして 2018 年度の科学研究費の審査区分を使用しています）。

なお、本財団は 2019 年に設立 50 周年を迎えます。今年度は、50 周年記念特別助成事業として、通常の人文科学研究助成（以下、「一般助成」という）に加え、「文化財修復事業助成」（以下、「文化財修復助成」という）及び「社会的課題解決のための大型連携研究助成」（以下、「大型連携研究助成」という）を実施します。なお、「文化財修復助成」の応募については「三菱財団 50 周年記念特別助成 第 1 回（2019 年度）文化財修復事業助成応募要領」をご覧ください。

<「大型連携研究助成」について>

「大型連携研究助成」として、異なる専門領域の複数のメンバーの方がチームを形成し、同一の社会課題解決のため、より多角的に、連携してダイナミックに挑戦する提案型の応募に対する助成を実施します。「大型連携研究助成」の応募につきましては、助成金額、期間等について、より柔軟に対応します。既成概念を破るチャレンジに期待します。

「大型連携研究助成」の応募の場合、助成申込書作成時に該当欄にチェックを入れ、併せて助成申込内容 6 ページの「チームの体制」欄にチーム構成を記入のうえ、申請して下さい。なお、「大型連携研究助成」にあたるか否かについては、ホームページにあります「社会的課題解決のための大型連携研究助成について」を参考の上、ご判断下さい。

②応募資格

イ．原則として、特定のテーマの、個人ないしは少人数のグループによる研究とします。

（「大型連携研究助成」の場合は複数の領域の研究者（実践者）のチームとなります。）

応募者の国籍等は問いませんが、当該代表研究者が日本国内に居住し、かつ国内に継続的な研究拠点を有することが必要です。

ロ．営利企業等及びその関係者は対象外となります。

ハ、代表研究者及び協同研究者は、本財団の同一年度の助成に複数応募することは出来ません。従って、代表研究者が（他分野も含め）他の応募案件の協同研究者を兼務したり、協同研究者が他の応募案件の協同研究者を兼務することも出来ません。
なお、複数応募が判明した場合は、応募を取り下げて頂くことがございます。

③助成金額

「一般助成」「大型連携研究助成」合わせて総額約 8,000 万円を予定、「大型連携研究助成」はそのうちの 2,000 万円程度を目途とします。採択予定件数は合計 35 件程度を目途とし、うち「大型連携研究助成」は 4 件程度を目途とします。応募金額の上限については、「一般助成」はこれまで同様 1 件当たり原則 500 万円としますが、「大型連携研究助成」の応募金額上限は 1 件当たり 1,000 万円まで認めることとします。他方、「一般助成」においては、研究の性質上比較的少額で足りる内容のものも充分考慮されます。

④助成金使途

「一般助成」「大型連携研究助成」共に応募対象研究に必要な書籍、文書、設備・備品、消耗品の購入費等とします（なお、代表研究者・代表者に、助成金使用に係わるすべての管理責任を持って頂きます）。

イ、旅費は、代表研究者・代表者及び協同研究者への支払いのみ可能です。

ロ、研究上特に必要な場合は、研究補助者への謝金支払いも可とされます。但し、協同研究者については、代表研究者と同様、謝金の支払いは認められません。

ハ、印刷・製本・出版関係費用も、本研究に関わるものに限ります。

（出版のみを目的とした申込は対象外となります。）

ニ、なお、応募者が所属する組織等の間接経費・一般管理費等は助成の対象になりません。

⑤助成期間

助成決定から 1 年を原則としますが、事情により期間 2 年にわたる使用も認められます。

なお、「大型連携研究助成」においては案件内容により期間 3 年まで認めることもあります（複数年度分の助成申込を一括査定し、助成金は各年に分けて使用されることとなります）。

⑥選考協力

所定の申込書、資料に加え、更に詳しい書類等の提出をお願いしたり、面接をさせて頂くこと等がありますのでご協力下さい。

⑦面接（大型連携研究助成）

大型連携研究助成については、選考の一環として助成の候補となられた方に面接を実施させて頂きます。原則として代表研究者の方及び連携される協同研究者等 1～2 名の方にご出席頂きます。2019 年度の面接日は 2019 年 4 月 15 日（月）を予定しています。面接対象となられた方には、3 月 29 日（金）までにメールでご連絡させて頂きます。

⑧助成決定時の義務・条件

- イ. 選考の結果、助成対象者となられた場合は、財団所定の「助成承諾書」を別途提出頂き、これにより研究経過・完了の報告、収支会計報告、その他使途変更事前相談手続等の義務を負って頂くことになります。
- ロ. 研究の経過・完了報告については、その一般公開についての同意をお願い致します。
- ハ. 助成金贈呈式を2019年9月11日に予定しています。贈呈式には助成金受領者ご本人にご出席頂くことになります。原則、代理出席は認めておりません。

3. 選考方法・結果通知等

①選考方法

財団委嘱の下記委員からなる選考委員会において慎重審議の上、その答申案に基づき、2019年6月開催予定の財団理事会において正式決定されます。審査の進捗状況についてのお問い合わせには、一切回答致しかねますので、ご了承下さい。なお、本財団は男女共同参画社会基本法の趣旨に賛同しております。

(選考委員)

谷 本 雅 之 (委員長)	石 川 禎 浩
河 原 温	下 田 正 弘
佐 藤 宏 之	(敬称略)

(専門委員)

助成申込の内容によっては適宜専門委員を委嘱します。

②結果通知等

- イ. 結果は決定後直ちに申込者各位宛に書面で通知されます。なお「助成先一覧」は、本財団インターネットホームページ上に掲載するほか各種学術関係広報資料(科学新聞、学会ニュース等)にも掲載を依頼致します。
- ロ. 採否の理由についてのご照会には回答致しかねますのでご了承下さい。

4. 応 募 期 間

2018年12月19日(水)～2019年1月16日(水)午後5時

＊期間内に必着のこと

＊応募書類を三菱財団事務局へ直接お持込みになることはご遠慮下さい。

5. 応 募 方 法

①「助成申込書」の作成

応募にあたっては、本財団インターネットホームページ上で作成した「助成申込書」を印刷し、代表研究者印もしくは代表者印(公印、法人・団体の場合)を押印の上、別途下記②で作成する「助成申込内容」と共に申込書一式として送付して下さい。

[ホームページアドレス]

<http://www.mitsubishi-zaidan.jp>

なお、インターネットホームページ上で「助成申込書」を作成しただけでは助成の申し込みにはなりませんので、ご注意下さい。

応募には下記②「助成申込内容」の作成及び「助成申込書」「助成申込内容」双方の送付が必須となります。

また、「ご応募の際によくある質問と回答」をインターネットホームページ上の「応募 Q&A」に掲載していますので、ご参照下さい。

＜「助成申込書」作成の手順＞

- i) 本財団インターネットホームページ上の「助成について」より「人文科学研究助成」を選択し「人文科学研究助成申込書、助成申込内容」をクリックします。
- ii) Step1にある「マイページを取得する」ボタンをクリックすると、メールアドレスの登録画面が表示されますので、応募される方のメールアドレスを入力するとともに、助成金種類欄から「人文科学研究助成」を選び、登録します。
- iii) 登録されたメールアドレスにマイページ登録用の URL がメールで届きますので、その URL にアクセスします。
- iv) パスワード設定画面が表示されますのでパスワードを入力、併せてパスワードを忘れた場合の秘密の質問・回答を登録します。
- v) ログイン ID が自動発行され画面に表示されると共にメールにも届きますので、発行された ID とパスワードを使い、マイページにログインします。
- vi) 基本情報の「編集」ボタンをクリックし、入力画面に進みます。
「一般助成」か「大型連携研究助成」のどちらかを選び、「申込者」「申込内容」「協同研究者」「連絡責任者」「当財団助成実績」（過去に当財団の助成金を受領された方のみ）の各項目を入力し、確認画面で入力内容のエラーチェックをした後、保存します。
(なお、「大型連携研究助成」を選択された場合は、「助成申込内容」6 ページの「チームの体制」欄の記入が必須となります。)
- vii) 入力内容が確定したら「基本情報 Web 入力完了」ボタンを押します。
(注)「基本情報 Web 入力完了」ボタンを押すと、入力内容の変更はできなくなりますのでご注意下さい。
- viii) 「助成申込書」(PDF) を表示・印刷し、代表研究者印を押印の上、下記②で作成する「助成申込内容」に表紙として付け、申込書一式正本（5. ③ ロ.）として下さい。
(注) 出力した「助成申込書」(PDF) には、変更を加えないで下さい。内容の変更が必要な場合は、本要領 6 ページ記載の本財団事務局までご連絡下さい。

なお、Web 操作に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

Tel. 東京 (03) 3626-1307 (平日 午前 9 時～午後 5 時)

E-mail. mitsubishi-zaidan@yoshida-p.co.jp

(ヨシダ印刷株式会社 三菱財団サポート担当)

②「助成申込内容」の作成

イ. 「助成申込内容」の書式は、本財団インターネットホームページ上にて、“助成応募要領”と共に、12 月上旬以降、2019 年度分を掲載致しますので、これをご参照下さい。

- ロ. 「助成申込内容」の用紙は原則として、このインターネットホームページにて、
Microsoft Word 書式、PDF 書式で示してあるものを、ダウンロードの上ご使用下さい。
- ハ. 文字数に制限がある項目以外に入力文字制限はありませんが、印刷時に表示されないことがあります。必ず印刷プレビューもしくは印刷物で確認して下さい。
なお、PDF 書式をご利用の場合、文字数が多くなると字が小さくなります。字があまり小さくならないよう文字数を調整の上、入力して下さい。

＜「助成申込内容」記入上のご留意点＞

- i) 代表研究者が大学・研究所・その他の機関等の組織に所属される場合は、当該組織における所属機関の「長」^(注) から本件研究助成申込についてのご承認印（職印）を「助成申込内容」の最終頁に押捺頂いた上、ご送付下さい（職印は公印としますが、個人印を公印として使用されている場合は個人印でも可とします）。
- なお、所属機関長の承諾欄に直接記入される場合は、黒インク又は黒ボールペンを使用し、楷書で明瞭に記入して下さい。
- ii) 他組織に所属する協同研究者が参加される場合、主要な協同研究者については、その協同研究者の所属機関の「長」の了承を得ておいて下さい（応募時点では確認しませんが、後日、書面にて確認させて頂く場合があります）。

（注）例えば、大学院研究科長、学部長、研究所長等、直属の所属機関長

③申込書一式の提出と受付の確認

- イ. 申込書一式（「助成申込書」「助成申込内容」及び付属資料）の提出は送付によります。
なお、FAX あるいはホームページ上での受付、E-mail での申込受付は致しません。
- ロ. 申込書一式の送付（*印のものは必ず送付願います）
- ・ *申込書一式正本（「助成申込書」（押印済）及び「助成申込内容」） 1 部
 - ・ *申込書一式副本（上記申込書一式正本のコピー） 6 部
- 正本、副本ともに片面印刷（コピー）、左肩上で各ホチキスどめして下さい。
- ・ *法人・団体申込の場合は定款（寄附行為）、役員名簿、資産負債の状況、活動状況がわかる案内書等を正本・副本全てに添付して下さい。
 - ・ 申込の研究に関する論文（3 篇以内、両面コピー可）
- 正本・副本 6 部全てに添付して下さい。
- ハ. 応募申込には、本財団インターネットホームページ上で作成した「助成申込書」及び「助成申込内容」双方の送付が必須となりますので、ご注意下さい。
- ニ. 本財団で申込書一式を受理しましたら、「助成申込書」に記載された連絡責任者にメールでご通知致します。応募期間の最終日以降 1 週間を過ぎても受理メールが届かない場合は、本財団事務局までご連絡下さい。
- ホ. なお、Web 入力完了後に「助成申込書」に登録された基本情報の変更を希望される場合は、本財団事務局までご連絡下さい。
- ヘ. ご提出頂いた申込書一式、添付資料等は返却致しかねますので、あらかじめご了承下さい。

（注）所属機関でまとめて送付される場合

申込書類一式は、申込者一名分ずつ封筒（表書きに申込者名明記）に入れた上で、
取りまとめてお送り下さい。

6. 個人情報取扱いについて

- ①個人情報とは原則として利用目的の範囲内で、かつ業務遂行上必要な限度内で利用致します。
- ②法令等の定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供致しません。

7. 反社会的勢力からの応募について

反社会的勢力および反社会的勢力と関係すると認められる個人もしくはグループからの応募は受け付けられません。

【申込書類提出先・お問い合わせ先】

公益財団法人 三 菱 財 団 事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番1号（三菱商事ビル21階）

Tel. 東京（03）3214-5754

Fax. 東京（03）3215-7168

E-mail. info@mitsubishi-zaidan.jp

追記 参考資料として、本財団第45回以降、過去3年度分の助成先一覧を添付します。

応募件数と同金額は以下の通りです。

平成28年度（2016年度）290件 622百万円

平成29年度（2017年度）281件 672百万円

平成30年度（2018年度）313件 737百万円

以 上

2018年11月

公益財団法人 三 菱 財 団

2019年度人文科学申込分野コード一覧表

大区分	中区分	小区分	コード
A	1 思想、芸術およびその関連分野	哲学および倫理学関連	01010
		中国哲学、印度哲学および仏教学関連	01020
		宗教学関連	01030
		思想史関連	01040
		美学および芸術論関連	01050
		美術史関連	01060
		芸術実践論関連	01070
		科学社会学および科学技術史関連	01080
		デザイン学関連	90010
	2 文学、言語学およびその関連分野	日本文学関連	02010
		中国文学関連	02020
		英文学および英語圏文学関連	02030
		ヨーロッパ文学関連	02040
		文学一般関連	02050
		言語学関連	02060
		日本語学関連	02070
		英語学関連	02080
		日本語教育関連	02090
		外国語教育関連	02100
	3 歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野	図書館情報学および人文社会情報学関連	90020
		史学一般関連	03010
		日本史関連	03020
		アジア史およびアフリカ史関連	03030
		ヨーロッパ史およびアメリカ史関連	03040
		考古学関連	03050
		文化財科学関連	03060
	4 地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野	博物館学関連	03070
		地理学関連	04010
		人文地理学関連	04020
		文化人類学および民俗学関連	04030
		地域研究関連	80010
		観光学関連	80020
		ジェンダー関連	80030
	5 法学及びその関連分野	基礎法学関連	05010
		公法学関連	05020
		国際法学関連	05030
		社会法学関連	05040
		刑事法学関連	05050
		民事法学関連	05060
		新領域法学関連	05070
	6 政治学及びその関連分野	政治学関連	06010
		国際関係論関連	06020
		地域研究関連	80010
		ジェンダー関連	80030
	7 経済学、経営学及びその関連分野	理論経済学関連	07010
		経済学説および経済思想関連	07020
		経済統計関連	07030
		経済政策関連	07040
		公共経済および労働経済関連	07050
		金融およびファイナンス関連	07060
		経済史関連	07070
		経営学関連	07080
		商学関連	07090
		会計学関連	07100
		観光学関連	80020
	8 社会学及びその関連分野	社会学関連	08010
		社会福祉学関連	08020
		家政学および生活科学関連	08030
		観光学関連	80020
		ジェンダー関連	80030
	9 教育学およびその関連分野	教育学関連	09010
		教育社会学関連	09020
		子ども学および保育学関連	09030
		教科教育学および初等中等教育学関連	09040
		高等教育学関連	09050
		特別支援教育関連	09060
		教育工学関連	09070
		科学教育関連	09080
		日本語教育関連	02090
		外国語教育関連	02100
	10 心理学及びその関連分野	社会心理学関連	10010
		教育心理学関連	10020
		臨床心理学関連	10030
		実験心理学関連	10040
		認知科学関連	90030

第45回（平成28年度）三菱財団人文科学助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	福島県	荒 哲 （あら さとし）	日本占領下のフィリピンにおける経済的対日協力の研究	1,000,000円
2	東京都	国際基督教大学教養学部 教授 新垣 修 （あらかき おさむ）	グローバル化時代の無国籍者：欧州の認定・保護制度を中心に	950,000円
3	東京都	早稲田大学 グローバルエデュケーションセンター 助教 池原 舞 （いけはら まい）	作曲書法と作品構造：ウェーベルン、ストラヴィンスキー、リゲティ、ブーレーズ	1,800,000円
4	京都府	京都大学大学院文学研究科 教授 井谷 鋼造 （いたに こうぞう）	トルコ・イラン・アゼルバイジャン3国におけるアラビア文字碑刻銘文資料の国境横断的調査と研究	1,700,000円
5	京都府	立命館大学産業社会学部 准教授 江口 友朗 （えぐち ともあき）	アジア諸国での親密圏を介した所得再分配とその普遍性を巡って：私的な人間関係に基づく相互援助の実態から	2,700,000円
6	東京都	東京大学大学院法学政治学研究科 教授 大串 和雄 （おおぐし かずお）	移行期正義における和解の研究ーラテンアメリカを中心として	1,400,000円
7	東京都	東京大学大学院人文社会系研究科 教授 大貫 静夫 （おおぬき しずお）	北アジアの新石器化に関する研究	3,500,000円
8	福岡県	九州大学大学院人文科学研究院 専門研究員 大場 はるか （おおば はるか）	近世の中央ヨーロッパにおける日本認識 イエズス会劇とベネディクト会との関係性	1,200,000円
9	北海道	帯広畜産大学人間科学研究部門 講師 岡崎 まゆみ （おかざき まゆみ）	内国植民地としての北海道における「近代法」の伝播過程	1,000,000円
10	京都府	立命館大学衣笠総合研究機構 研究員 岡野 英之 （おかの ひでゆき）	シエラレオネ農村部の伝統的指導者はエボラ出血熱の感染の拡大を防ぐためにいかなる役割を果たしたのか	1,000,000円
11	東京都	慶應義塾大学法学部 教授 粕谷 祐子 （かすや ゆうこ）	東南アジアにおける民主主義と独裁の歴史的起源	1,600,000円
12	京都府	総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター 准教授 近藤 康久 （こんどう やすひさ）	モンスーンアラビアにおける環境人類史の再評価	1,700,000円
13	京都府	京都大学大学院地球環境学堂 准教授 西前 出 （さいぜん いずる）	中国黄土高原における食料供給の脆弱性に着目した地域計画・土地利用計画に関する研究	1,400,000円

（代表研究者50音順、以下同じ。）

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	福岡県	九州産業大学国際文化学部 教授 酒井 順一郎（さかい じゅんいちろう）	「大東亜共栄圏」における日本語教育 の実相と実践－日・満・蒙の協力と反 発－	2,000,000円
15	東京都	東京大学大学院総合文化研究科 特任研究員 杉山 浩平（すぎやまこうへい）	富士山考古学の提唱と実践	3,200,000円
16	東京都	学習院大学文学部 教授 高田 博行（たかだ ひろゆき）	ナチドイツ宣伝省秘密会議－戦時報道 の言語使用に関する修辞学的・計量言 語学的アプローチ	1,200,000円
17	北海道	北海道大学北極域研究センター 助教 高橋 美野梨（たかはしみのり）	北極域の安全保障をめぐる国際政治学 的研究	2,500,000円
18	東京都	一橋大学大学院経済学研究科 専任講師 高柳 友彦（たかやなぎともひこ）	近代日本の地域社会と軍隊－温泉地の 療養所を事例に－	600,000円
19	長野県	信州大学人文学部 准教授 豊岡 康史（とよおか やすふみ）	清朝嘉慶期（1796-1829）の政治改革と 構造変動－19世紀中国の転換点－	2,000,000円
20	東京都	東京外国語大学 大学院総合国際学研究院 教授 中川 裕（なかがわ ひろし）	グイ語の色彩語彙体系の言語類型論的 研究	1,700,000円
21	大阪府	関西大学文学部 教授 蜷川 順子（にながわ じゅんこ）	領域の視覚的フレーミング	2,000,000円
22	京都府	京都教育大学附属京都小中学校 教諭 野ヶ山 康弘（のがやま やすひろ）	日本版認知促進授業モデルの開発－英 国「Let's Think!」を活用して－	1,200,000円
23	愛知県	中京大学法学部 教授 檜山 幸夫（ひやま ゆきお）	近代公文書自動解読のための基礎的研 究	3,000,000円
24	福岡県	九州大学大学院経済学研究院 教授 深川 博史（ふかがわ ひろし）	戦後日本の対韓技術協力の証言収集調 査－浦項製鉄建設の記憶の継承－	1,850,000円
25	福岡県	九州大学大学院人文科学研究院 助教 福田 正宏（ふくだ まさひろ）	アムール下流域先史遺跡における自然 災害の影響の実態調査－地域文化資源 保護活用に関する国際協力－	1,700,000円
26	東京都	早稲田大学国際教養学部 教授 布袋 敏博（ほてい としひろ）	旧「満州」地域および解放後、初期北 朝鮮における朝鮮人文学者の活動に関 する調査研究	1,400,000円
27	兵庫県	神戸大学大学院人文学研究科 准教授 真下 裕之（ました ひろゆき）	ムガル帝国時代南アジア社会の歴史文 献学的研究：『アーイーニ・アクバ リー』を中心として	1,900,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	愛知県	名古屋大学大学院法学研究科 教授 水島 朋則 (みずしま ともり)	海外美術品等の扱いに関するルール形成における国際法と国内法の相互作用について	900,000円
29	東京都	上智大学グローバル教育センター 准教授 水谷 裕佳 (みずたに ゆか)	米国先住民による食料主権の回復運動の再考ーアリゾナ州南部の事例に関する多角的研究	900,000円
30	宮城県	東北歴史博物館企画部 主任研究員 村上 一馬 (むらかみ かずま)	日本狼絶滅過程に関する基礎研究として東北地方での近世以降の資料調査	1,400,000円
31	茨城県	国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 研究員 横尾 英史 (よこお ひでふみ)	危険な貧困脱出手段としてのE-wasteリサイクルの評価ーフィールド調査と計量経済学的手法による分析	1,900,000円
32	東京都	法政大学理工学部 教授 横山 泰子 (よこやま やすこ)	近世日本における〈北方〉イメージ 絵地図とテキストに探る多様性の研究ー	1,000,000円
33	北海道	北海道大学大学院文学研究科 教授 和田 博美 (わだ ひろみ)	ネズミの超音波コミュニケーションに着目した言語獲得過程の動物モデル構築	3,000,000円
34	宮城県	東北学院大学文学部 教授 渡辺 昭一 (わたなべ しょういち)	南アジアの冷戦と国際援助問題に関する研究	1,700,000円
合 計				34 件
				58,000,000円

第46回（平成29年度）三菱財団人文科学助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	愛知県	名古屋大学大学院人文学研究科 特任助教 市川 彰 （いちかわ あきら）	火山灰に埋もれたマヤ南部周縁都市の 政治経済活動に関する考古学的研究	2,200,000円
2	愛知県	名古屋大学大学院法学研究科 特任准教授 伊藤 弘子 （いとう ひろこ）	子の福祉とは何か？ーアジア諸国にお ける要保護児童への支援体制の検討	2,500,000円
3	愛知県	名古屋市立大学大学院人間文化研究科 准教授 榎木 美樹 （えのき みき）	亡命チベット人コミュニティの変遷と 生計戦略としての移住ネットワークの 今日的展開	1,700,000円
4	兵庫県	神戸大学大学院国際文化学研究科 教授 王 柯 （おう か）	民主主義諸国におけるウイグル人ディ アスポラの研究	2,500,000円
5	大阪府	大阪大学大学院人間科学研究科 教授 大谷 順子 （おおたに じゅんこ）	アジア太平洋地域の被災地における創 造的復興に関する国際比較研究	3,000,000円
6	東京都	東京大学大学院法学政治学研究科 助教 楠本 敏之 （くすもと としゆき）	非正規労働者の社会的包摂のための総 合的社会保障法政策についての実証研 究	1,900,000円
7	東京都	東京芸術大学社会連携センター 特任講師 久米 正吾 （くめ しょうご）	中央アジアにおけるウマの導入と拡散 過程に関する考古学研究	1,300,000円
8	京都府	佛教大学歴史学部 教授 斎藤 英喜 （さいとう ひでき）	死者儀礼と「浄土神楽」の研究	1,000,000円
9	東京都	中央大学文学部 教授 坂田 聡 （さかた さとし）	中世後期～近世前期における百姓のリ テラシーに関する研究	1,300,000円
10	愛知県	中部大学人文学部 准教授 末田 智樹 （すえた ともき）	戦前期の商店街組織化による反百貨店 運動と地方百貨店勃興との関係性に関 する研究	2,400,000円
11	東京都	東京大学東洋文化研究所 日本学術振興会特別研究員PD 鈴木 舞 （すずき まい）	古代中国の金文鑄造技法に関する学際 的研究ー複合的研究法（レプリカ法・ 3D解析・鑄造実験）実践の試みー	2,000,000円
12	青森県	弘前大学人文社会科学部 教授 関根 達人 （せきね たつひと）	近世国家北方領域境界域における物資 流通に関する考古学的研究	3,000,000円
13	東京都	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授 長井 伸仁 （ながい のぶひと）	身体を用いる労働と宗教ー第二次世界 大戦後のフランスにおけるカトリシズ ムの事例	800,000円

（代表研究者50音順、以下同じ。）

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	京都府	京都大学人文科学研究所 准教授 中西 竜也 (なかにし たつや)	17世紀の中国ムスリムによるイスラームと中国伝統思想の調和『帰真総義』の研究	2,500,000円
15	神奈川県	慶應義塾大学総合政策学部 准教授 中室 牧子 (なかむろ まきこ)	ごみ山で働く子どもに教育を：フィリピンの最貧困地域における先端的フィールド実験	2,500,000円
16	東京都	東京芸術大学音楽学部 准教授 西間木 真 (にしまぎ しん)	11-12世紀フランスにおける音楽実践と理論：アキテーヌ・トナリウスの校訂と分析	700,000円
17	青森県	長谷川 成一 (はせがわ せいいち)	人文社会学的解析と森林遺伝学的解析に基づく国内クロマツ松原の歴史的造成プロセスの解明	1,500,000円
18	東京都	東京大学公共政策大学院 特任助教 華井 和代 (はない かずよ)	コンゴの紛争資源問題と性暴力に対する先進国の責任	2,500,000円
19	愛知県	豊田工業大学工学部 教授 原 大介 (はら だいすけ)	日本手話音節の適格性の解明－言語学・機械学習からのアプローチ	2,300,000円
20	東京都	昭和女子大学国際学部 教授 ボルジギン フスレ (ぼるじぎん ふすれ)	キャプタ文書の構築と研究：日露関係を中心に	2,300,000円
21	東京都	国士舘大学イラク古代文化研究所 共同研究員 前川 和也 (まえかわ かずや)	古代イランとバビロニア：文化交渉の歴史学・言語学的研究	2,500,000円
22	東京都	東京大学史料編纂所 准教授 松方 冬子 (まつかた ふゆこ)	朱印船のアジア史的研究：16～17世紀、日本往来の「国書」と外交使節	2,700,000円
23	鹿児島県	鹿児島大学学術研究院法文教育学域 准教授 三浦 壮 (みうら そう)	戦前期日本における皇室財産の形成と工業化投資に関する実証研究	700,000円
24	東京都	国立国語研究所 日本学術振興会特別研究員PD 三樹 陽介 (みき ようすけ)	消滅の危機に瀕する八丈語の保存・継承のための音声資料と教材作成に関する研究	1,200,000円
25	京都府	京都大学人文科学研究所 准教授 村上 衛 (むらかみ えい)	近代華南における内地流通構造の解明：珠江デルタ・西江流域を中心に	2,000,000円
26	東京都	一橋大学大学院法学研究科 准教授 森 千香子 (もり ちかこ)	都市衰退地区におけるソーシャル・ミックス政策の比較社会学－パリ郊外とニューヨークの事例	2,200,000円
27	京都府	京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター 特定助教 森川 裕貫 (もりかわ ひろき)	中華民国時期知識人とイギリス政治思想：ハロルド・ラスキ受容を中心に	1,100,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	京都府	京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 (もろとみ とおる)	グローバル化時代における国際租税レ ジームの形成と多国籍企業課税に関す る研究	1,800,000円
29	京都府	同志社大学文化情報学部 助教 柳沢 英輔 (やなぎさわ えいすけ)	ベトナム中部高原ゴング音楽の音律の 解明とその歴史的起源 ーアジア他地 域の音階との比較から	2,600,000円
30	沖縄県	琉球大学研究推進機構 特命助教 山極 海嗣 (やまぎわ かいし)	考古学的比較分析と蛍光X線分析を組み 合わせた琉球列島先史土器文化形成に おける環境的要因の解明	900,000円
31	東京都	共立女子大学文芸学部 教授 山本 聡美 (やまもと さとみ)	日本中世絵画と文学における、イメー ジとテキストの双方向性に関する基礎 的研究	1,800,000円
32	茨城県	筑波大学人文社会系 教授 吉水 千鶴子 (よしみず ちづこ)	仏教典籍の翻訳と伝承における講義の 役割	600,000円
合 計				32 件 60,000,000円

第47回（平成30年度）三菱財団人文科学助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	東京都	一橋大学大学院社会学研究科 教授 上田 元（うえだ げん）	タンザニア農地林業の対ケニア・バリューチェーン：商人の活動戦略と生産者組織化の射程	3,800,000円
2	東京都	早稲田大学政治経済学術院 准教授 上田 路子（うえだ みちこ）	自殺報道の過去30年間の変遷とその影響：5カ国データの比較実証研究	3,000,000円
3	福岡県	九州大学大学院法学研究院 助教 大谷 彬矩（おおたに あきのり）	刑事施設における処遇の位置づけに着目した社会復帰理念の具体化に関する研究	1,000,000円
4	広島県	広島大学大学院総合科学研究科 准教授 春日 あゆか（かすが あゆか）	汚染者としての市民－近代イギリスの煤煙問題－	1,300,000円
5	愛知県	名古屋大学博物館 講師 門脇 誠二（かどわき せいじ）	ネアンデルタール人消滅と新人拡散のプロセスに関する考古学研究：ヨルダンの旧石器遺跡調査	1,500,000円
6	東京都	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院 准教授 川名 晋史（かわな しんじ）	在日米軍基地の撤退に関する史的考察－福岡と北海道を事例に	1,300,000円
7	福島県	福島大学行政政策学類 教授 菊地 芳朗（きくち よしお）	律令体制確立期の北辺地域における地域間交流解明の考古学的研究	2,100,000円
8	京都府	立命館大学先端総合学術研究科 教授 岸 政彦（きし まさひこ）	戦後沖縄社会の構造変容－戦争体験と戦後の生活史の実証分析	1,600,000円
9	東京都	東京大学大学院教育学研究科 准教授 北村 友人（きたむら ゆうと）	競争から協働へ：中国都市部における「学校間協力」の仕組みの構築に関する社会学的研究	1,800,000円
10	東京都	一般財団法人行政管理研究センター行政研究所 研究員 黒澤 良（くろさわ りょう）	小泉内閣期における「官邸主導」と自民党 未公開議事録に基づく共同研究	900,000円
11	東京都	文化学園大学文化ファッション研究機構 共同研究員 児玉 絵里子（こだま えりこ）	琉球舞踊と綾子舞－芸能比較対照研究による古歌舞伎踊の系譜考、琉舞と小歌踊系民俗芸能の民族芸術学的考察	3,000,000円
12	東京都	東京大学大学院人文社会系研究科 教授 小林 真理（こばやし まり）	ドイツにおける過去の芸術文化政策の記憶の継承と現代の芸術文化政策への影響について	1,700,000円
13	茨城県	筑波大学人文社会系 助教 塩谷 哲史（しおや あきふみ）	ニコライ1世期ロシア帝国のアジア外交	1,100,000円

（代表研究者50音順、以下同じ。）

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	愛知県	名古屋大学大学院法学研究科 学術研究員 新地 真之 (しんち まさゆき)	インドネシアにおける遺伝資源関連の 伝統的知識をめぐるABS国内法整備に関 する研究	1,500,000円
15	奈良県	奈良県立橿原考古学研究所 所長 菅谷 文則 (すがや ふみのり)	中国山東省斉国故城から新たに出土し た鏡範の調査研究	2,500,000円
16	東京都	内閣府迎賓館総務課 上席政策調査員 鈴嶋 富士子 (すずかも ふじこ)	日本近代洋風建築における室内装飾と しての絵画の保存修復－国宝 旧東宮 御所(迎賓館赤坂離宮)を中心に－	1,000,000円
17	東京都	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授 高岸 輝 (たかぎし あきら)	戦国時代の絵画制作にみる都鄙間交流 と文化の全国波及	2,900,000円
18	京都府	京都大学大学院文学研究科 教授 高嶋 航 (たかしま こう)	満洲国とスポーツ：国際承認と国民統 合の戦略	2,300,000円
19	滋賀県	滋賀県立大学人間文化学部 准教授 武田 俊輔 (たけだ しゅんすけ)	限界集落における祭礼・民俗芸能の継 承と再編成－住民・他出者・移住者・ ボランティア間の関係性に注目して	1,100,000円
20	福島県	いわき明星大学教養学部 教授 土谷 幸久 (つちや ゆきひさ)	イノベーションコースト構想による浜 通り復興過程の研究	1,100,000円
21	京都府	京都大学東南アジア地域研究研究所 連携講師 外山 文子 (とやま あやこ)	新興国における汚職取締の政治学	2,600,000円
22	東京都	上智大学法学部 教授 永野 仁美 (ながの ひとみ)	日仏伊芬における精神保健政策の比較 研究－地域精神医療の実践を目指して －	3,600,000円
23	北海道	北海道大学大学院経済学研究院 教授 橋本 努 (はしもと つとむ)	新しい中間層の可視化理論とその実証 分析：リベラル派中間市民(コモン・シ ティズン)の新たな供給源を探る	2,800,000円
24	東京都	上智大学経済学部 准教授 細萱 伸子 (ほそがや のぶこ)	日本人女性SIEsにおけるグローバル キャリアの発展と行動特性の関連に関 する研究	1,000,000円
25	京都府	京都大学大学院文学研究科 非常勤講師 増永 理考 (ますなが まさたか)	公的恵与にみるローマ帝政前期小アジア 都市社会をめぐる研究－リュキア地 方を中心に－	1,100,000円
26	山口県	山口県立大学看護栄養学部 教授 増成 直美 (ますなり なおみ)	フィンランドにおける診療情報の二次 利用	1,300,000円
27	宮城県	東北大学災害科学国際研究所 准教授 松本 行真 (まつもと みちまさ)	民衆知と非日常行動の比較社会学的研 究	3,800,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	静岡県	静岡県立美術館学芸課 学芸課長 三谷 理華 (みたに りか)	ラファエル・コランの公共建築装飾画 をめぐる基礎的調査・研究	1,100,000円
29	大阪府	阪南大学国際コミュニケーション学部 教授 守屋 友江 (もりや ともえ)	鈴木大拙関係松ヶ岡文庫所蔵資料から みた近代禅仏教のネットワークに関する研究	2,000,000円
30	京都府	京都大学大学院経済学研究科 教授 矢野 剛 (やの ごう)	新興国におけるイノベーションを促進 する金融システムの探求ー中進国の罫 からの脱出ー	1,700,000円
31	東京都	東京大学大学院人文社会系研究科 教授 吉澤 誠一郎 (よしざわ せいいちろう)	中国ナショナリズム運動の地域的・国 際的背景：日中関係史の視点から	1,200,000円
32	山形県	山形大学農学部 准教授 渡辺 理絵 (わたなべ りえ)	産物データを用いた東北地方の過去の 動植物の分布相とその変化に関する研 究	1,300,000円
合 計				32 件
				60,000,000円